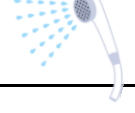


クリニカルパスウェイ
慢性副鼻腔炎で手術を受ける患者さんへ

東京慈恵会医科大学附属第三病院

患者番号 @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME

	外来	入院日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目～退院
日時	月 日	月 日	月 日 時頃		月 日	月 日	月 日
目標	☐ 体調を整えましょう	☐ 手術の準備をしましょう	<術前> ☐ 安全に手術が受けられるよう準備をしましょう	<術後> ☐ 身体の回復を目指しましょう	☐ 身体の回復を目指しましょう	☐ 傷の回復を目指しましょう	☐ 傷の回復を目指しましょう ☐ 診察後、午前中に退院となります
食事	☐ 制限はありません 	☐ 必要時制限食となります ☐ 夜9時以降は絶食です ☐ 経口補水又は水を 20時～6時まで飲水行います。午後手術の方は看護師に確認して下さい	☐ 朝6時から絶飲食 ＊うがい、歯磨きはできます。 ☐ 午後手術の方は飲水については看護師へ確認して下さい。	☐ 飲んだり、食べたりはできません。(点滴で補充します) 	☐ 朝から食事が出ます ☐ 基本的には病院食に近いものをとるようにし、刺激物(香辛料・辛いもの・あついもの)は避けましょう		
活動	☐ 制限はありません ☐ 手術に向けて体調を整えましょう	☐ 制限はありません	☐ 手術着に着替えましょう ☐ 時計や貴金属・コンタクトレンズ・義歯・貼り薬などは外して下さい	☐ ベッド上安静です。麻酔の影響により、1人で座ったり歩くことができません。 トイレ時はお知らせください。	☐ 病棟内は制限ありません		☐ 退院後の外来予約票をお渡しします 
検査処置	☐ 採血・レントゲン・心電図など手術に必要な検査があります	☐ 麻酔医の診察があります ☐ 場合により手術する側にマーキングします		☐ 酸素マスクをします ☐ 場合により、尿道に管が入ります ☐ 心電図・SPO2モニターを装着します。	☐ 4階の耳鼻処置室で診察します ☐ 尿道の管が入っている場合は抜きます	☐ 鼻洗浄が開始となります。使用方法の説明があります。	
薬	☐ 常用薬は、医師の指示に従い内服してください 	☐ 常用薬は、医師の指示に従い内服してください ☐ 入院後、薬の内容を確認しますのでご持参ください ☐ 薬剤師から薬の説明があります	☐ 常用薬は、医師の指示に従い内服してください	☐ 抗生剤の点滴をします ☐ 必要に応じて、痛み止めや吐き気止めを使用します	☐ 常用薬は、医師の指示に従い再開します ☐ セレスタミンの内服が始まります ☐ 抗生剤の点滴をします	☐ 抗生剤の点滴をします 	☐ 抗生剤は内服へ変更します ☐ 退院後内服するお薬をお渡します ☐ 退院後から去痰薬の内服と点鼻薬が開始となります
清潔	☐ マニキュア、ジェルネイルは落してください。アートメイクや刺青などがある場合はお知らせください。 ☐ 爪切り・髭剃りをしてください。	☐ 手術の準備をします(シャワー浴・爪切り・髭剃り)	☐ 髭剃りや爪切りの確認をしてください。お化粧はしないでください。		☐ 身体拭きをしましょう	☐ 医師の許可が下りたらシャワー浴が可能となります 	<退院後の生活について> ・綿球は、鼻の乾燥・感染を予防するため、次の外来まで続けてください ・出血の原因になりますので、入浴の際は熱い湯や長風呂は避け、短時間ですませましょう
指導説明	☐ 喫煙されている方は、禁煙に努めてください。術後の呼吸器合併症や出血のリスクとなります。 ☐ 病状・手術の説明を受け、手術同意書・輸血同意書の記入をしていただきます <入院時持参物品> ☐ 常用薬(7日分) ☐ お薬手帳 ☐ 日常生活用品 ☐ この説明用紙 ☐ 同意書一式 ☐ 鼻洗浄器(ローソンで購入)	☐ 看護師から病棟案内と、手術前後の説明があります ☐ 麻酔科医の診察時に麻酔についての説明があります。また、麻酔同意書の記載をいただきます。 	☐ 口に溜まった血液は飲み込まず出してください ☐ 出血がありましたら速やかにお知らせください。 ☐ 適宜鼻の綿球を交換してください ☐ 出血の原因となるため、鼻はかまないでください ☐ 鼻の中のガーゼによって涙が多くなることがあります ☐ 出血した場合は静かに横になりますよう		☐ うがいや歯磨きを行い口の中を清潔に保ちましょう		・傷の治りを遅らせてしまうため、医師の指示があるまで禁煙に努めましょう ・飲酒は血流を増加させ、出血しやすくなるので医師の指示があるまで控えましょう ・定期的な診察が必要となりますので、医師の指示通り受診をお願いします ・出血、発熱、痛みなどが続く場合は、受診予定日以外でも外来に電話の上、受診してください